

令和6年度 八王子市立高尾山学園中学部中学校
学力定着・向上に向けた取組計画

1 本校の実態

【第1学年】

小学校の内容が不登校による未学習になっている生徒、転入後も登校が安定しない生徒、学習に支援が必要な生徒が多くいる。そのような生徒たちが安心して学習できるよう授業を進めている。

【第2学年】

在籍数が入学時から約2倍に増える(15名→28名)。不登校によって未学習がある生徒の他、集団が大きくなったことで不安を抱える生徒が多くいるため、2年生から2つのコース制の授業を行っている。

【第3学年】

在籍数は入学時から約4倍に増える(11名→40名)。集団がさらに大きくなったことや学習の難化で不安を抱える生徒数は増えるが、最終学年として第2学年時に比べ授業参加率の改善がみられる。卒業後の進路希望は多様である。

2 本校の取組方針（「はちおうじっ子ミニマム」の定着に向けた取組を含む）

登校が安定していない生徒でも不安なく授業に参加できるよう次の取組をしている。

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| ①基礎・基本に重点を置いた授業 | ②2つのコース制授業(Bコース・Cコース) |
| ③市講師を活用したT・T（国数英） | ④指導補助員による支援 |

3 具体的な取組内容（「はちおうじっ子ミニマム」の確実な定着に向けた取組が分かるように記載）

【校内体制】

転入時の学習の遅れ、転入後の授業の参加状況と学習不安について講師や指導補助員の間で情報を共有化して必要な支援を講じる。

【取り扱う内容】

市学力調査等において生徒の自信を失わないよう配慮しながら実施し、結果を考慮した支援を継続的に行う。

第1学年	授業の進行は基礎・基本に重点を置おいて必要に応じて小学校の内容も学習する。欠席や授業不参加のため学習が遅れた生徒に対しては、T2となる教員や指導補助員と協力して支援する。不安を抱えた生徒に対しては、相談室等の職員と協力しながら生徒の心の支えとなるよう支援して授業への参加を即す。
第2学年	コースに分かれ学習の集団を小さくする。Bコースの国数英の授業では可能な範囲で一人一人の学力に応じた指導を行い、不安を抱えた生徒でも授業に参加できるよう配慮しながら学力の向上を目指す。Cコースは国数英の授業数を増やし一斉授業にて学力の向上をめざす。必要に応じて放課後の補習を随時行う。
第3学年	進路選択にむけて学習の目標を立てられるよう支援する。未学習を多く残す生徒や登校が安定しない生徒には、不安なく上級学校で学校生活を送れるよう内容を厳選し学習を進める。未学習を残す生徒や発展的な問題を希望する生徒に対しては、希望に応じて放課後の補習を随時行う。